

伝えよう、三計と半九の教え

そっけん 息軒だより

一日の計は朝(あした)にあり
一年の計は春にあり
一生の計は少壮の時にあり



令和2年度 12・1月号 (第23号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO法人 安井息軒顕彰会
理事長 齋藤義輝
館長 川口眞弘
〒889-1605
宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378-1
Tel:0985-84-0234 Fax:0985-84-2634
e-mail:sokken.yasui@pic.bbq.jp



QRコードを読み取ると、記念館のHPがご覧になれます。

★第35回国民文化祭・みやざき2020

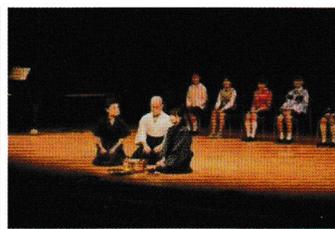
第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会 さきがけプログラム 全国漢詩の祭典 開催 ～息軒先生の漢詩全国に発信～★

10月24日(土)宮崎市民プラザ オルブライトホールにて、第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会、さきがけプログラムとして「全国漢詩の祭典」が開催され、素晴らしい漢詩もたくさん詠まれている息軒先生の凄さが全国にアピールされました。

～宮崎市立清武小学校児童による劇と合唱～

第1部では、宮崎市立清武小学校児童による劇「郷土の偉人『安井息軒』」、合唱「息軒先生の歌」の発表があり、集中して取り組んだ練習の成果が十二分に発揮された素晴らしい内容に、会場からは惜しめない拍手が送られました。

また、宮崎吟詠会による構成吟「郷土の偉人『安井息軒』」では、ナレーションに載せて“三計の教え”や息軒先生の漢詩が吟じられ、息軒先生の詠んだ漢詩を味わいながらその生涯に思いを馳せました。



～記念講演会～

第2部は、全国漢詩の祭典表彰式に続き記念講演が行われ、安井息軒顕彰会・諸岩則俊氏が「写真で見る息軒の『紀行文と漢詩』の魅力」と題して、息軒先生の旅した足跡をたどりながら、全国を旅して撮影した美しい風景写真と共に息軒先生の漢詩を紹介。続いて、全日本漢詩連盟会長・石川岳堂氏による講演「『安井息軒』の漢詩」では、漢詩のきまり等についても解説されながら、より詳しくわかりやすく息軒先生の漢詩を読み解きました。



(文責：金丸)

令和2年度企画展 「清武と飢肥の時代の安井息軒」

会期：令和3年1月16日(土)～3月7日(日)

会場：宮崎市安井息軒記念館 特別展示室

若き日の息軒先生の実像に迫ります。ご来館をお待ちしております。

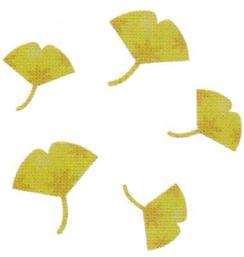
入場無料



坂本正直(双石山登山)2000

★息軒にふれあう・親しむ・学ぶ・そしてまねが★
 ～文化の秋 来館者続々と～

10月25日(日) 国民文化祭「漢詩の祭典」ご一行様



11月4日(水) 宮崎市立田野小学校 3年児童109名



11月5日(木) 宮崎市立木花小学校 4年児童30名



11月10日(火) 宮崎市立大宮小学校 4年児童152名



★令和2年度 夏休み絵画展・自由研究作品展 表彰式(10/11)★



絵画展 金賞
 加納小2年 鎌田悠葵さん



自由研究 特選1席
 大久保小6年 橋上寿哉さん



自由研究 特選2席
 大久保小6年 宮田花音さんの発表

★令和2年度 安井息軒顕彰夏休み書道展 表彰式(10/18)★

～密を避け少人数グループに分けて実施～



★安井息軒記念館講座が開催されました★

◇ 10月17日(土)「平部嶠南 ～もう一人の碩学～」那良則人氏(放送大学大学院歴史研究会所属)
飫肥藩における安井息軒の弟子で、幕末から明治にかけて飫肥藩の家老として藩政のかじ取りを担った平部嶠南を当時の日本や世界の情勢など、時代背景を詳細に説明しながら解説されました。少年時代から息軒に学んだ嶠南は、その深いつながりの中で、師の思想や教えを藩政に反映させていきました。晩年には、『日向地誌』を編纂するなど、後世にも多大な功績を残したことが語られました。受講者からは、当時の時代背景がよくわかり、「平部嶠南に非常に興味を持った」などの感想が寄せられました。

◇ 11月14日(土)「明治維新 息軒の底力」諸岩則俊氏(安井息軒顕彰会会員)

一般的には、息軒は江戸時代に活躍した学者と思われがちですが、明治に入ってから100名を超える門下生があり、その中には藩主(知事)や世子も多くいたこと、また各藩の協力を得て、著作が出版されるなど、明治になってからの評価が非常に高かったこと等を語られました。また、息軒の下で学んだことにより、弟子たちが西洋思想に柔軟に対応し日本の近代化に大きく貢献していったことを解説されました。受講者からは、「息軒の真価を学ぶことができ、偉大さを再認識した」という意見などが寄せられました。(文責:長野)

★安井息軒記念館 これからの催し案内★

◇お佐代さんを偲ぶ会

令和3年1月9日(土) 10:00~12:00

息軒の妻、お佐代さんを偲び、献花や呈茶を行います。

今回は、尺八の演奏を予定しています。

参加希望の方は、事前にご連絡ください。無料です。



◇呈茶



令和3年2月3日(水)~10日(水) 13:00~15:00

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、当館研修室において振舞います。

※2月8日(月)は休館日のため、呈茶も休みます。

◇安井息軒写真・短歌・俳句コンクール

募集期間 令和3年1月19日(金)~2月21日(日)

題材は「息軒、旧宅、記念館、梅」です。詳細はHPでご案内します。



◇安井息軒梅まつり

4ページ目をご覧ください。



★館長のつぶやき★

～きれいな花をありがとうございます～

まだまだ先の見えない新型コロナウイルス感染拡大の渦中であって、「みやざき花で彩る未来」推進協議会の特別企画「みやざき花いっぱいプロジェクト2020」により、たくさんの美しい花々が届けられ、ご来館の皆様をなごませていただいております。誠に有り難いことです。息軒先生も心なしかうれしそうです。どうかコロナ禍が一日も早く終息し、穏やかな日常が戻ってきますように…。



令和3年1月から安井息軒記念館のホームページが一新されます。そちらもぜひご覧ください。

『まんが 郷土の偉人 安井息軒』を宮崎市内の小中学校ほかに寄贈

当顕彰会が改訂刊行した『まんが 郷土の偉人 安井息軒』（10月13日発行）を、市内の小中学校をはじめ、関係教育機関団体に寄贈していただくため、10月21日（水）宮崎市教育委員会教育長室において、西田教育長に目録を贈呈しました。多くの方々に読んでいただくことで、安井息軒先生をたくさんの方に知っていただき、顕彰活動のさらなる発展の一助となることを期待しています。

当館及び四季の夢で500円（税込）で販売中です。



「国民文化祭 2020 みやざき 全国漢詩の祭典」運営に協力

10月24日（土）宮崎市オルブライトホールで開催された「全国漢詩の祭典」会場で、『まんが 郷土の偉人 安井息軒』『歴史散歩きよたけ』『安井息軒関連年表』等の書籍や「息軒かるた」等を販売しました。販売ブースの横には、息軒先生に関する資料パネルを掲示して、来場された方々に息軒先生について知っていただくコーナーを設けました。

また、当日講演を行った安井息軒顕彰会会員の諸岩則俊氏がまとめられた研究資料も展示され、いろいろな形で息軒先生について、“見て・聴いて・触れて・知って”いただくことのできた一日でした。

安井息軒記念館周辺の植栽 樹木医による診断と対応



11月5日（木）樹木医が記念館及び旧宅の梅の木等を診断し、数々の指導がありました。特に木の根や幹周りの風通しが悪いので、樹勢が衰退して虫が発生しているとのことでした。

11月28日（土）に、梅の木周辺の樹木の剪定及び伐根を行いました。今後は、樹木医による講習会を受講し、会員等による剪定を行って、息軒親子が愛し、清武町の木でもある「梅」を大切に管理していきたいと思っております。



令和2年度安井息軒梅まつりの内容が決定

11月21日（土）第4回梅まつり実行委員会で、行政による記念館等の閉館依頼がないことを前提に、昨年よりも規模を縮小し、“飲食物の販売はしない”“大人数での演技等はしない”“観客席は間隔を空け、座席数を昨年の1/3以下とする”等の方向性が決定しました。

今年度は、小中高一般による書道吟、琴演奏の中での呈茶、息軒先生に関するミニトーク、クイズラリー等を予定しています。令和3年2月11日（木・祝）、記念館で皆様のご来場をお待ちしております。

<引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください>

- ・来館時はマスクの着用をお願いいたします。
- ・正面玄関に消毒液を設置しております。手指の消毒をお願いいたします。
- ・入館時に「利用者名簿」へのご記入と検温にご協力ください。



会員随時募集中

NPO 法人 安井息軒顕彰会では令和2年度の会員を募集しています。

年会費

- 一般会員 2,000円
- 賛助会員 1,000円
- 学生会員 500円
- 団体会員 5,000円（1口）



各種お問い合わせ、会員の近況報告、情報提供などがありましたら事務局までご連絡ください。

☆新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの日程等の変更や中止の可能性があります。詳しくは記念館までお問い合わせください。（0985-84-0234）

NPO 法人 安井息軒顕彰会

事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1
（宮崎市安井息軒記念館内）

電話：0985-71-3005 携帯：080-8589-0569

e-mail : yasuisokken@yahoo.co.jp

